

令和元年 第7回（12月）志免町議会定例会一般質問通告書

通告順

番号	質問者	質問時間	件名	要旨	具体的質問内容	質問の相手
1	稲永 隆義	30分	1. 教育一般	(1) 教育長の基本的考え方。	①これからの抱負及び教育についての基本的な考え方は。 ②来年度から教育環境は大きく変わると考えられる。その予測と対応は。	教 育 長
			2. 行政一般	(1) 国のガバナンスと志免町の独自性。	①地方自治の本旨とは。 ②志免町のオリジナリティのある施策及び事務事業は。 i. そう多くないとしたら何故か。 ii. 款、項、目がネックになっているのでは。	町 長
			3. 生活安全	(1) 要支援者の避難支援について。	①過去5年間の避難所の開設と避難者数は。時期と場所を具体的に。 ②この間の福祉避難所の開設は。 ③現在の要支援者の人数は。特に垂直避難が困難な方の人数は。 ④要支援者の方の避難時の要望（支援が必要 or 必要ない等）を確認しているか。 ⑤要望を踏まえた個別支援計画の策定は。	町 長
			4. 総務	(1) 役場の組織の永続性＝人材育成について。	①来春新卒者の採用の進捗状況は。 ②来春採用者のその後の研修計画は。 ③職員の3ヶ月、6ヶ月あるいは海外研修等の長期の研修はあるか。また、考えているか。 ④県庁、市役所、他町等との人材交流はあるか。	町 長
2	木村 俊次	30分	1. 町の財政について。	(1) 財政の現状について。 (2) 将来の財源について。	①歳入の自主財源と依存財源の構成比率。 ②歳入の過去5年間の比較（町税、地方交付税、国庫支出金、町債、寄附金）。 ③過去5年間の町税及び国保税の収納率と糟屋郡内の状況。 ①今後、公共施設改修工事が多く発生し多額の財源が必要となるが、町長の考えは。	町 長
			2. 町の職員数について。	(1) 職員数の現状と行政（住民）サービスについて。	①志免町の人口千人当たりの職員数（平成30年4月1日現在）と県下60市町村との比較について。 ②職員数と行政（住民）サービスについて。	町 長
			3. コミュニティバスについて。	(1) 高齢者の免許返納について。 (2) コミュニティバスの利便性について。	①糟屋郡内の免許返納者（平成30年1月～平成30年12月） ②今後も増加傾向にあると思われませんが、返納者への対応について町長の考えは。 ①郡内各町にコミュニティバスのようなバスが走っていますが、その内容は。 ②コミュニティバスの利便性について町長の考えは。	町 長
3	牛房 良嗣	30分	「1人の子も見捨てない。中3全員英検3級合格を目指す」 1. 平成25年6月閣議決定。 中3英検3級50%、中学英語教師準1級50%達成へ。 6年間の志免町の達成状況は。	(1) 「全員合格」の成否、トップの決断と実行で日本へ。7,000人の子どもに夢と未来を。 「中3全員3級合格」へ一番大切なことは、トップとしてどう立ち向かうか。	①志免町の現況は。 ②トップへ問う。6年間の中3英語力低迷の原因は。 ③小中学校教師の英語力向上。小学校教師英検2級、中学校教師英検準1級、全員合格へ。 ④保育園・幼稚園（18施設）、企業主導型保育園（14施設）でのALTを活用した支援。 ⑤小学校1,2年生への早期取組、3,4年生、5,6年生の習熟別クラス編成。英検3級を中学2年生までに完了。 ⑥小中学校で校内イベントを実施。 寸劇、英語の歌コーラス、スピーチコンテスト、校内放送でリスニング力向上。 ⑦英語格差是正のため、町内会無料英語教室の設置。講師派遣費用は行政負担（春休み、夏休み等）。 ⑧楽しい英語でいじめ、不登校一掃。学力向上へ。 ⑧小・中児童生徒、町民全体へのメッセージを。	町 長 教 育 長

4	亀崎 大介	20分	1. 防災について。	(1) 台風17号について。	①被害の状況は。 i. 公共施設 ii. 町全体 ②今回の台風による建物災害共済の請求案件はあったのか。	町 長
			2. 町の活性化について。	(2) 今後の対策は。	①避難所は安全安心なのか。 ②停電対策を行っている避難所はあるのか。 ③平成31年3月作成の防災ハザードマップの見直し時期はいつなのか。	町 長
5	岩下 多絵	20分	1. 町のPRについて。	(1) 今後どのように町をPRしていくのか。	①町政施行80周年記念行事文化祭を終え、町の行事として一麵フェスタなどの商工会行事を同時開催したことへの町としての評価は？ ②シメッチャの今後の活用法は？(グッズ製作などの展開はあるのか) ③役場の一画に志免町をPRした商品や、土産物を販売するブースを設置してはどうか。	町 長 教 育 長
			2. 性への教育について。	(2) 立坑のPRについて。	①立坑の修復後、町のシンボルとしてどのようにPRを行っていくのか。また、アイデアはあるのか。 ②世界的にも珍しいという立坑を世界に発信するくらいの意気込みはあるのか。 ③観光でお見えになるお客さんに対し、今はお土産を買う場所もない。 ④資料館も暗く導線が悪い。	町 長 教 育 長
6	小森 弘美	30分	1. 子育て支援の充実について。	(1) 多胎育児支援について。	双子や三つ子といった多胎児の子育てには、様々な困難が伴う。心身ともに疲弊した母親らが、不安や孤独感を深め、子どもを虐待するケースもあり、厚生労働省は来年度より支援に乗り出す。そこで多胎児支援について町の見解を伺う。 ①志免町在住の双子、三つ子の人数は。 ②ツインママの会に参加されていないお母さんへの対応はどうしているか。 ③多胎児の家庭の外出はとても大変と聞く。様々な都合で、車での移動ができない親子での外出時の補助など町独自の取り組みはあるか。	町 長
				(2) きょうだい児の入院時の支援について。	子育て中は、子どもにより病気になる場合もあるが、次の件で町の見解を伺う。 ①きょうだい児の長期入院の際の、母親(父親)の悩みを聞いてあげる等の相談窓口、又、具体的なサポートはあるのか。 ②具体的な町の取り組み、対応は。	

			2. 窓口サービスの向上について。	(1) 町民に更に寄り添った窓口対応を。	志免町の窓口の対応は、とても感じが良いと好評であるが、庁舎を訪れる町民の皆さまは様々な状況で役場におみえになる。そこで、誰もが安心して利用できる窓口について町の見解を伺う。 ①町民サービス向上のため、今以上に、どこを向上させていきたいか。窓口対応の取り組みや工夫はあるか。 ②家族が亡くなると遺族は14日以内に手続きをしなければならないが、窓口で死亡届を提出後に多くの課を回らないといけない。 死亡届に関しては、「おくやみ窓口（仮称）」を開設している自治体がある。町でもこのような対応はできないか。	町長
7	古庄 信一郎	30分	1. 来年度から始める「水道施設運転管理業務委託」についての懸念と課題について。	(1) 町民の生活と生命に直接関係する、志免町水道事業において、始めて施設運転管理業務を民間外部業者へ委託することによる懸念と課題について。	① 民間業務委託を決定したこれ迄の経緯について。 ② 今後のスケジュールは。 ③ 懸念される事項は多々あるが数点伺う。 (ア)町民の不安、信頼確保はどうするのか。 (イ)町と受託者との責任分担はどう考えるのか。 (ウ)専任者不在による町としての監督業務はどうなるのか。リスク管理が不安。 (エ)町の業務ノウハウが受託者に蓄積され、受託者の固定化となる恐れと関連する懸念。 (オ)受託者の内部環境の変化や、社会情勢、外部環境の変化によって倒産や撤退に対する懸念は。 (カ)その他	町長
			2. 町政の発展と誇りある郷土づくりに貢献した自治功労者や団体への昨今の町対応に対して疑義と姿勢を問う。	(1) 町政 80 周年記念式典、各イベントでの自治功労者への対応について問う。町の総合計画にも反する。 (2) 町政 80 周年記念誌についての疑問と、偏見等から垣間見る、現町政の姿勢について問う。	① 自治功労者の実態は。 (志免町表彰条例第 3 条の項目別対象者の実態) ② 志免町表彰条例第 6 条、自治功労者に対する礼遇とは何か。 ③ 平成 30 年度、令和元年度の町の諸儀式、諸行事とは何が該当するのか。 ④ それらへの案内他対応は。 ⑤ それらへの参加者の人数は。 ⑥ 町政 80 周年記念式典とコンサートでの対応について。 ⑦ 今後の考え方について。 ① 発行編集組織の不掲載で、誰が編集したのか不明瞭。 ② 発行へのプロセスが不透明で個人の偏見による編集の疑念。記念誌の基本となるコンセプトは何か。 ③ 前町長他、自治功労者のコメントは一切無く、80 周年記念誌の体をなしていない。作為的に排除したのか。 ④ 志免壱坑槽が保存された歴史の真相と、保存を成し遂げ国の重要文化財まで成し得た最大の功労団体「志免立坑槽を活かす住民の会」の記述が全く無い。何故なのか。志免町の歴史上から抹殺しようとしているのか。 ⑤ 最終発行に際して、構成と内容についてどう協議しチェックし決定したのか。業者まかせか。	町長
8	藤瀬 康司	20分	1. 地域振興について。	(1) クラウドファンディングの活用について。	①ガバメントクラウドファンディングを活用して財源確保をしてみてもどうか。 ②町民からプロジェクトを募集し、ふるさと納税によるクラウドファンディングの導入してみてもどうか。	町長
			2. 安全安心まちづくりについて。	(1)通学路見守りボランティアについて。 (2) 防犯カメラ設置について。	①通学路の見守りボランティアの方が、万が一事故にあった場合、保険対応の実態把握はできているか。 ①前回の一般質問で設置に前向きな回答を頂いたがその後の進捗状況。	町長

9	丸山 卓嗣	30分	1. 小中学校の一貫教育について。	(1) 小中学校の一貫教育のメリット、デメリットについて。	①小中学校の一貫教育には多くのメリットがあると考えますが、そのメリット、デメリットの認識は。	町 長 教 育 長
			(2) 小中一貫校導入に伴う予算について。	①予算面から、志免町で小中学校の一貫教育を導入する場合、どのような、どのぐらいの予算が必要となるか、また、導入による統廃合などで軽減できる予算はあるのか。導入済みの他自治体の参考例や想定が可能な範囲でお答えください。		
			(3) 教科・教育期間区分について。	①小中一貫教育の中で、教育の期間区分を見直し、例えば現状の1年生～4年生の4年間で1区。5年生、6年生、中学1年生の3年間で2区。中学2年生、3年生の2年間で3区とし、合計9年間教育を3区分とし、この中間の3年間は、現在の小学校5、6年生、中学校1年生にあたりますが、高校受験前のこの3年間に集中的に志免町の地域特性を生かした新しい教科・教育期間を創設してはどうか。例えば、空港が近い特性を生かし、姉妹都市制度を拡充するなどし、国内・外の交流を充実させ、スポーツ・文化交流の聖地を目指すなど、志免町にしかない独自の教育施策・期間を実施してはいかがか。このような独自教育や教育期間区分の見直しについての町長の考えは。		
	(4) 通学区域制度の弾力的運用について。	①近年、校区間で人口分布に差が出て来ており、教室の調整などが問題となっている。生徒数が均衡のとれた教育環境、教育選択の自由の観点からも『通学区域制度の弾力的運用』のような、町内であれば通いたい学校を自ら選ぶことが出来る制度を導入してはいかがか。				
	(5) 2学期制について。	①志免町では2学期制が採用されているが、試験が少ないため学力が低下している、また、試験日程に無理があるなどの声が聞かれる。例えば、現状の2学期制では、夏休み、春休みあけ直後に試験が行われている大学のように前期、後期試験を休み前に実施するべきではないか。場合によっては3学期制に戻す考えは。				
	(6) 教育施策全般について。	①教育こそ町の基盤、『教育特区』的な施策を導入して、教育の環境整備に力を入れ、教育を軸とした子育てしやすい町を目指すべきだと考える。小中学校の一貫教育を軸とした教育施策をひろく発信し、志免町の教育ビジョンを明確にすべき。町長の所見は。				
	2. 災害時におけるドローン活用について。	(1) ドローン操縦士について。	①ドローンの飛行では、専門の知識を有するドローン操縦士を養成する必要がある。役場職員にこのような専門教育を行い、ドローン操縦士を養成する考えはあるか。	町 長		
	(2) ドローン活用の実態について。	①消防関連団体においてもドローンの活用は検討されている。他の自治体では民間のドローン業者と提携する動きもあるが、現在、近隣自治体、消防関連団体におけるドローンの導入状況は。また、ドローンの導入についての考えは。				
	3. 災害ゴミについて。	(1) 災害ゴミの対策について。	①災害時に発生する災害ゴミの問題について、置き場がない、廃棄するのに2時間待ち、指定された置き場が遠いなどの問題が発生している。現在、災害ゴミについての町の対策はどのようになっているのか。	町 長		

10	末藤 省三	30分	1. 保育について。	(1)保育園副食費の減免について。	①保育園の副食費負担について。 ②無償化なのに、なぜ副食費を徴収するのか（消費税増税とセット）。 ③児童手当から徴収しているのでは。 ④副食費無償化について。	町 長
			2. 教育について。	(1)教員の変形労働時間制について。	①1年単位の変形労働時間制とは。 ②憲法や労働基準法にも触れるのでは。	町 長 教 育 長
			3. 医療について。	(1)病院再編について。	①全国の公的病院・公立病院、424病院の再編で、地域医療はどのように変わるか。 ②高齢者の外来での2割、3割負担の増について。	町 長